

# 6月定例議会

# 行政報告 (1)

平成26年6月定例議会は、6月17日に開会、27日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また、19日と20日には一般質問が行われました。23日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、27日の最終日に採決が行われました。

6月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

## 総務部関係

**■総務課**  
東日本大震災の被災地である岩手県山田町を引き続き支援するため、5月1日より職員長期派遣を行っています。期間は12月末までの8か月間で、家屋や土地の現況を確認しながら、固定資産課税台帳の整備等を支援します。

5月12日に一般社団法人秋田県LPガス協会と災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の調達に関する協定を締結しました。

5月26日に消防本部と合同で秋田県北秋田地域振興局を会場に、大規模地震を想定した防災訓練を実施しました。訓練では、近隣自治会員との連携による要救助者の救出、初期消火、応急救護を行い災害発生時の初動対応、救助救急活動、情報収集活動等各々の役割を確認しました。



▲阿仁前田の桂坂地区で行われた土砂災害を想定した訓練

6月1日に消防本部と合同で阿仁前田桂坂地区を会場に、大雨による土砂災害を想定した全国統一防災訓練を実施しました。桂坂自治会員の避難誘導訓練、通報訓練、防災講座等を行い、災害発生時の初動対応と土砂災害の知識を習得しました。

人権擁護については、6月1日の「特設人権相談所」の設置や6月8日のふるさと踊りと餅つきまつり会

場での啓発活動、また、5月26日から市内12校の小中学校において「人権の花運動」が実施されるなど、人権擁護委員の活動によって人権尊重思想の普及が図られています。

## ■総合政策課

市のホームページのレイアウトを一新し4月1日から公開しています。閲覧者が目的の情報にたどり着きやすいようなサイト構成にするとともに、スマートフォンにも対応しました。また、各課でのページ作成を可能とすることで、情報発信の迅速化を図りました。

3月21日、東京芸術大学美術学部教授でアーティストの日比野克彦氏を講師に迎え、国民文化祭あきた2014において北秋田市で実施する造船所プロジェクトの講演会を開催しました。また、4月28日に国民文化祭北秋田市実行委員会の第3回総会を開催し、本番を迎える本年度の予算や事業計画を決定しました。

阿仁地区出身者による「東京圏あに会」総会が、5月25日に東京都台東区内で開催され、約170人が参加しました。

北秋田地域振興局と市の意見交換会を5月27日に開催し、地域防災力の強化や観光振興、道路整備など、県・市の重点推進事項の確認と連携強化について意見交換を行いました。



▲のりものまつりで「車両基地体験」での軌道バイクの試乗

## ■内陸線再生支援室

第3回秋田内陸線のりものまつりが、5月17日と18日の2日間、阿仁合駅周辺を会場に開催され、市内外の家族連れなど、両日で約2500人の来場者を数え、盛会裏に終了しました。

秋田県と仙北市、北秋田市、会社の4者で締結した「秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意」で、経営損失額2億円以内とする目標は、各種支援団体、沿線自治会等の協力により、達成する見込みです。

## 財務部関係

### ■財政課

平成26年1月23日から5月20日までの工事等発注状況（500万円以上）は62件、契約額は24億7926万4千円です。

## ■税務課

平成26年度の当初課税状況は、軽自動車税が課税台数1万6287台で課税額は7666万4千円、固定資産税は、納税義務者が1万6571人、課税額は15億2022万6千円です。

## 市民生活部関係

### ■生活課

クリーンリサイクルセンターへの平成25年度のごみの搬入量は、北秋田市分が1万1636トンで、前年比で65トン減少しました。内訳は、可燃物9594トンで前年比80トンの減、不燃物502トンで前年比21トンの増、リサイクル品7品目608トンで前年比12トンの減、古紙類932トンで前年比6トンの増です。春のクリーンアップは、4月20日



▲多くの住民が参加した鷹巣地区のクリーンアップ

の早朝に市内全域（森吉・阿仁地区は20日以外複数日実施）で実施され、約5800人の市民が参加しました。

**■市民課**  
国民健康保険の4月1日現在の加入世帯数は5660世帯で、被保険者数は8938人（一般被保険者数8042人、退職被保険者数896人）、そのうち前期高齢者は4155人です。

後期高齢者医療制度の4月1日現在の被保険者数は8033人、うち若年障害者認定数は213人です。

## 健康福祉部関係

### ■福祉課

冬期間の採暖用燃料の多くを占める家庭用灯油等の価格高騰に対応し、低所得者世帯のうち、高齢者世帯1572世帯、障害者世帯317世帯、ひとり親世帯95世帯、生活保護受給世帯233世帯の計2217世帯に対し、灯油購入費等の助成を行いました。

民生委員・児童委員は、昨年12月1日現在48人が欠員となっていました。その後39人の方々から厚生労働大臣からの委嘱状が交付されました。平成26年度の保育所入所は、4月1日現在、公立保育園459人（定員626人）、私立保育園366人（定員360人）の合計825人です。

ひとり親家庭就学祝金は、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生18人（前年度17人）、中学生34人（前年度39人）の児童生徒に交付しました。

## ■高齢福祉課

高齢者在宅福祉サービスの平成25年度実績は、高齢者障害者等外出支援サービス登録者数441人（前年度446人）で、延べ利用回数は4070回です。食の自立支援サービスの登録者数は241人（前年度227人）で、延べ3万310食を提供しました。また、家族介護慰労金は、在宅での介護支援として、204人（前年度261人）の方々へ交付しました。

福祉の雪事業は、平成25年度から住民税非課税世帯を対象とし、登録者数は1533人（前年度2141人）で、延べ利用回数は1万686回です。

介護保険の4月末現在の要支援・要介護認定者数は2816人で、そのうちサービス受給者が2372人、認定者数に対する受給率は84.23%で、前年と比べ認定者78人、サービス受給者72人の増加です。

地域包括支援センターが行っている平成25年度の包括的支援事業における総合相談件数は、延べ976件（来所186件・電話493件・訪

問297件）で、前年比で292件増加しました。

## ■医療健康課

旧公立米内沢総合病院解体工事は、3月25日に完了しました。

阿仁診療所整備検討委員会は、5月13日に第1回目を開催し、委嘱状交付や今後のスケジュール等について説明しました。

成人検診事業は、集団検診・医療機関での個別検診・ドックの3方式で実施し、並行して各種がん検診を実施しています。

母子保健事業は、不妊症・不育症治療費助成（幸せファミリーサポート事業）及び風しん予防接種費用助成を継続して実施しています。子育て支援では、乳児健診での絵本ふれあいタイムと子育てサークルを継続して実施しています。



▲子育て支援の一環として行っている子育てサークル（にじいろぼん）